岩手県立生涯学習推進センター
研修実施報告 Web版

実 施 日：令和２年８月６日（木）
実施場所：岩手県立生涯学習推進センター
受講者数：69 名　市町村参加率：48.5%
（16／33 市町村）

学校と地域の連携・協働研修会

職　員　研　修
有志指導者研修
要　請　研　修

この研修会は、学校と地域の連携・協働を生かしたキャリア教育を推進している先進事例から、その意義と手法について学ぶことを目的として実施しました。各市町村の行政担当者、地域学校協同活動推進員・地域コーディネーター、学校関係者等、69 名が受講しました。

【実践発表】様々な立場で取り組むキャリア教育

上村　佳邦　氏

恒川　かおり　氏

森谷　幸恵　氏

前半は、学校と地域の連携・協働を生かしたキャリア教育を推進している先進事例の実践発表を行いました。国立岩手山青少年交流の家　主任企画指導専門職　上村　佳邦　氏からは、「中学校総合的な学習の時間『職場体験学習』」について、特定非営利活動法人　未来図書館　主任コーディネーター　恒川　かおり　氏からは、「地域を担う人材育成『キャリア教育支援プログラム』」について、岩手県立高田高等学校　教諭　森谷　幸恵　氏からは、「岩手県立高田高等学校における『学校と地域の連携・協働』」についての発表をしていただきました。

立場の違う方々の実践発表をとおして、様々な視点から地域と連携したキャリア教育について学ぶことができました。

【パネルディスカッション・助言】「学校と地域の連携・協働を生かしたキャリア教育」

パネルディスカッション

新妻　二男　氏

午後は、実践発表をしていただいた３名をパネリストに、そしてコーディネーター・助言者として岩手大学　名誉教授　新妻　二男　氏をお招きし、パネルディスカッションを行いました。

学校と地域の連携・協働においては、学校も地域も WIN ・WIN の関係であること、キャリア教育をすすめるうえでは、様々な生き方や多様性を認めていくことが大切であることなどを学ぶことができました。

《受講者の声》

- どのような仕事があるのか、どういう勉強をすれば興味のある仕事に就けるのか、いきいきと活躍している大人と関わることで将来につながる大切なことが学べるのだと感じた。
- 総合的な探求の時間の初動についてのイメージができた。また、学校の体制についても考えるきっかけにもなった。
- 学校と地域の連携・協働に向けて「繋ぎ役」として、できることを実践したい。

《受講者の評価》

A（有意義）	68.2%
B（どちらかといえば有意義）	31.8%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（佐藤）から》

学校と地域の連携・協働において、キャリア教育を視点として取り組むことの有用性を改めて感じることができました。